

令和2年度2学期終業式 式辞

こんにちは。船浦中生徒の皆さん、元気ですか〜？元気があれば何でもできる！です。いつも元気で行ってください。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、夏休みが大幅に削られ、8月20日からスタートした長い2学期でしたが、早いもので本日終業の日を迎えました。まるで日々加速しているかのように、早かったなと感じます。心配していた新型コロナも、皆さんが感染防止対策の徹底に努めたことで特に大事に至ることなく、無事に終業式を執り行うことができ、ホッとしています。

2学期の終業にあたり、2学期始業式でお話したことを少し思い起こしてみたいと思います。1学期は「基礎を耕す学期」ということでした。2学期はその基礎を土台に「目標に向かって鍛える学期」なんだというお話をしました。

さて、皆さん、2学期を振り返って、どうだったでしょうか？ちなみに2学期、授業日数は何日あったと思いますか？2学期の授業日数は、88日でした。例年よりは長くなりました。

先ほど4名の代表（榎農さん、脩太さん、蒼生さん、英星さん）がそれぞれの立場で2学期の反省を述べていましたね。

（代表4名のあいさつより）

それぞれがしっかりと自分を見つめ、反省の気持ち、そして新しい年への抱負を述べていたと思います。大切なことは、反省したことを次にどうつなげるか、生かすかです。是非、自分自身で振り返り反省したことをまとめの学期である3学期につなげてほしいと思います。

この2学期、コロナ禍と言われる中でしたが、私にとっては、とっても良い学期だったと思っています。それは、何故か？皆さんがいつもより長い2学期、日々の学習や部活動、生徒会活動、学校行事などで一生懸命頑張りと、たくさんの成果を上げてくれたからです。

まず、三大型事の「浦内川筏下り」は、昨年から取り組んでいる海洋教育と関連付け、海、山、川は繋がっていることを事前学習を通して学び、琉大熱研の渡辺先生の講話より、マングローブが重要な役割を果たしていることを学びましたね。そのことを踏まえ、筏作りを縦割りの班ごとに協力して行い、本番に臨みました。この行事を通して、浦内川、西表島の豊かな大自然のすばらしさ、雄大さを改めて感じるとともに、保護者や地域関係者の協力の有り難さを痛感したと思います。関わってくださった方々への感謝の気持ち、忘れないでほしいと思います。

次に文化祭では、当初9月実施予定で計画していましたが、新型コロナの影響で中止も検討されましたが、皆さんの「学びを止めない」ということで、できることを考え可能な方法で開催するということになり、12月実施ということになりました。地区駅伝や筏下りの準備もしながら同時並行で進めていったため、大変厳しい日程になりましたが、吹奏楽、ストンプ、チャレンジビジネスの発表、歌、デンサ節、合唱と、どの演目も本当にすばらしいできばえだったと思います。展示物もポスターセッションを含め学習の成果の発表として「Very good」でした。参観者からたくさんの賞賛の声をいただきました。

その後の「へき地教育」の研究発表会では、生徒代表の発表もあり、島立ちに向けてすばらしい実践をしていると、多くの参観者からお褒めの言葉をいただきました。

スポーツ面では、10月に行われた地区駅伝で、男女2チームがエントリーし全員が走りきりました。約ひと月間の練習で体力、精神力がかなり鍛えられたと思います。それが新人大会での結果に繋がっていると思います。バスケ、野球、卓球ともかなりの手応えを感じ、次への期待が高まる新人大会でした。また、川満夕さんが県大会（ジュニア陸上）走り幅跳びで3位になり、来年の国体強化指定選手に選ばれました。夕さん、おめでとうございます。

文化面では、末吉英星さんが八重山地区意見発表会において、最優秀賞に輝きました。本来ならば地区代表で県大会出場となるはずでしたが、新型コロナの影響で中止となったのは、大変残念でした。しかし、英星さん、本当に堂々とした発表であっばれでした。

生徒会活動においては、生徒会執行部を中心に、各種委員会活動をはじめ、様々な学校行事や本日行われた生徒会主催のレクの企画等、それぞれの立場でみんなが力を発揮してくれました。今後もこの自治の力を更に高めていってほしいと思います。

日常的な活動においては、朝の清掃などの勤労活動やボランティア活動等、積極的にやってくれました。皆さんのいいところをたくさん観ることができ、とてもうれしく、且つ頼もしく思いました。当たり前のことが当たり前にできる「凡事徹底」を心がけ、継続できるようこれからも取り組んでいきましょう！継続させるコツは「コツコツ」やるということですので頑張りましょうね！

それから、もう少し改善すべき点としては、学習面では基礎カテストにしっかり取り組み、基礎基本の定着を図ることと、家庭学習ノート等の提出物に課題があること、生活面では、教室の棚や机の整理整頓ができていない、校外でのあいさつがまだ不十分であるなどがあると思います。3学期はこれらのことを意識して取り組んでほしいと思います。一人一人で行き詰むというより、仲間同士声をかけ合いながら、みんなで切磋琢磨し、高め合う集団になってほしいと思います。

3学期は、1年生が職場体験活動、2年生が修学旅行、3年生が受検という大きな行事等が待ち受けています。しっかりとそれに向き合えるよう、冬休みの過ごし方には十分気をつけ、健康的な毎日を送れるようにしてください。特に3年生はいよいよ受検モードになります。行ける学校ではなく、自分が行きたい学校には入れるように頑張ってください。特に「冬休みを制するものは受検を制す」という言葉があるとおり、冬休みの過ごし方が重要です。一日一時間を大切に、しっかり学習に打ち込んでください。

いよいよ明日から、11日間の冬休みに入ります。是非、休みの間に来年に向け自分なりの目標を掲げ、新しい年（令和3年）のスタートを切ってほしいと思います。コロナ禍はしばらく続きます。いずれにしても、健康に留意し、安全・安心な毎日過ごすことが、まずは大前提ですので、心に留めていてください。

皆さん一人一人にとって有意義な冬休みになることを願うとともに、3学期始業式で31名全員が元気な姿で会えることを期待し、2学期終業式のあいさつといたします。

メリークリスマス&ハッピーニューイヤー！

令和2年12月25日
竹富町立船浦中学校
校長 仲田欣五

